

(抜粋版)
台東区産業振興推進方針

～これからの挑戦に寄り添うために～

令和4年3月

台 東 区

IV 基本方針

区内中小企業の課題を踏まえ、以下の3つの基本方針に基づき、産業振興施策の展開を図る。

基本方針1 コロナ禍の影響を最小限に抑える

ポストコロナを目指す姿 公的支援がいきわたり、コロナによる経営悪化を抑えることができている	
施策の方向性	1 事業者の資金繰りと感染対策をしっかりと支える 2 事業者の実情の応じた相談にきめ細やかに対応する

基本方針2 企業価値を向上させる取組みを促進する

ポストコロナを目指す姿 区内中小企業に、新しいビジネススタイルへ挑戦する機運が高まっている	
施策の方向性	1 事業者が新しいビジネススタイルの必要性を理解し取り組む、企業価値向上に向けた挑戦を支援する 2 経済活動、消費動向の変化に対応するため、SDGsやDX導入の取組みを支援する

基本方針3 新たな賑わいのスパイラルを創る

ポストコロナを目指す姿 まちに賑わいをもたらす、事業者間の新しいつながりが生まれている	
施策の方向性	1 商店街など団体の現状を把握し、課題に応じた活性化につなげる 2 既存の団体の枠を超えた、新しい事業者間の連携を促進する

V 基本方針を推進するための横断的取組み

基本方針を推進するため、以下の取組みを様々な事業に取り入れ、区内事業者に寄り添った、きめ細やかな支援を実施していく。

1 情報発信の充実

産業関連情報をイラストや動画など、分かりやすいコンテンツを使い充実し、メールマガジン、SNS等の発信手段を最大限活用した情報発信に取り組んでいく。

【イラスト・動画での情報発信イメージ】

関心喚起
例：マンガ

動画発信の充実

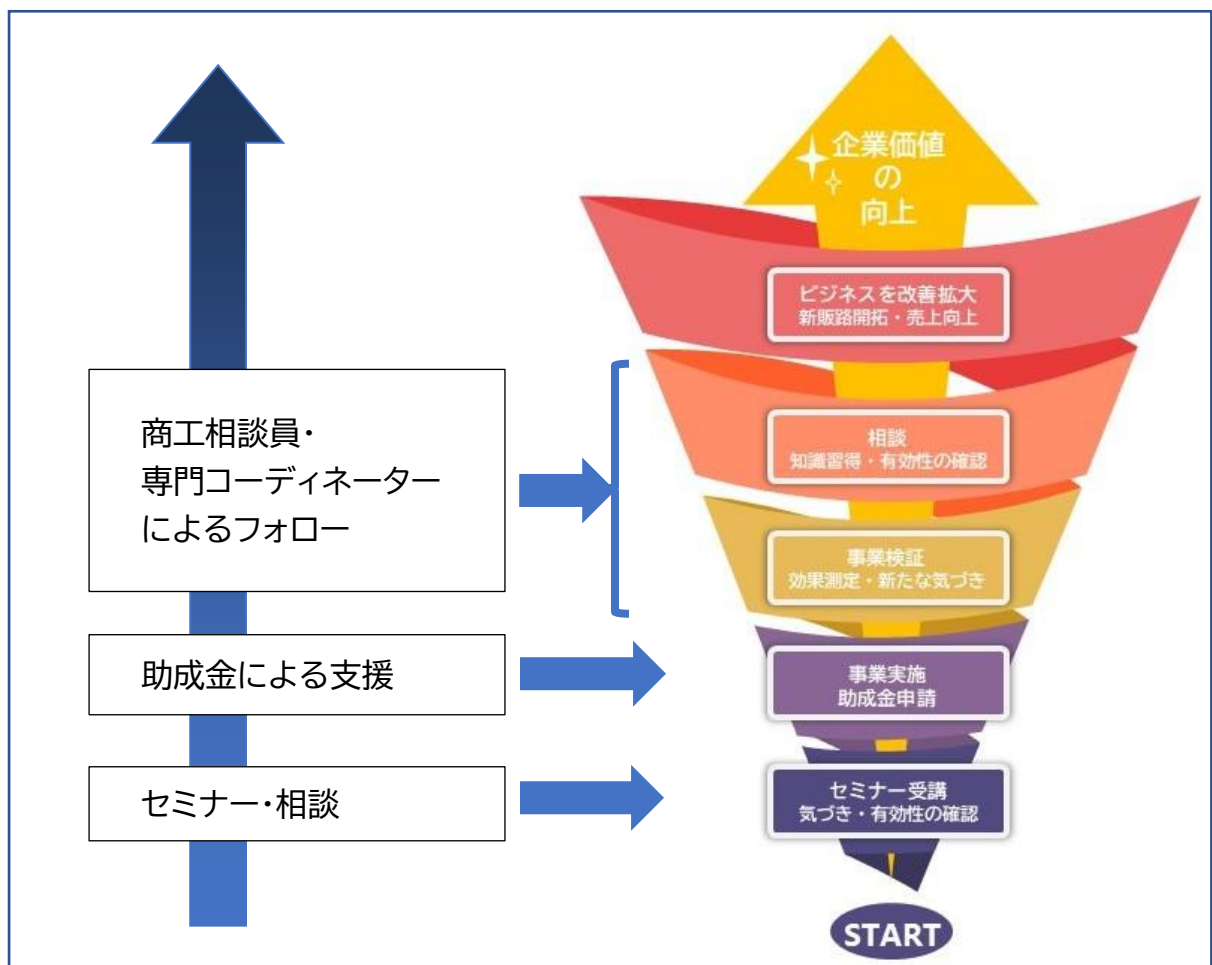
連携・補完

台東区中小企業振興センター
ビジネス支援ネットワークと中小企業の福利厚生

2 事業者の実情に応じた「パッケージ支援」の導入

事業者が行う新販路開拓や売上確保などに向けた様々な取組みをさらに後押ししていくため、これまで実施してきた支援策の連携強化を図り、デジタル化などのテーマについて、啓発から、助成金支援～検証～相談まで、パッケージ支援により、効率的、効果的な支援に取り組む。

【ビジネスのデジタル化を推進していく場合のパッケージ支援イメージ】



3 専門家によるハンズオン支援

事業者が抱えている経営上の諸問題に対して、中小企業診断士をはじめとする専門家とのネットワークを活用した支援を行っていく。さらに、制度利用後のアフターフォローをきめ細やかに行うなど、事業者に寄り添った支援を実施していく。

4 事業者の「長所伸展」を目指す支援

厳しい経済情勢の中にあるからこそ、自社の強みを知り、伸ばしていくことが必要であり、事業者の「長所」にフォーカスした支援を充実していく。さらに、創業して間もない経営者などを対象に財務の基本をはじめとした「経営基礎力」の強化を図り、経営の安定化に向けた支援を実施していく。

5 団体・関係支援機関との更なる連携強化

コロナ禍からの早期脱却を図るためには、区のみではなく、関係団体や支援機関と知恵を絞り、力を合わせていくことが必要である。業界団体や商店街等の関係団体のほか、東京商工会議所台東支部をはじめとする各支援機関との連携強化を図っていく。

6 SDGs やデジタル化に取り組む事業者への支援

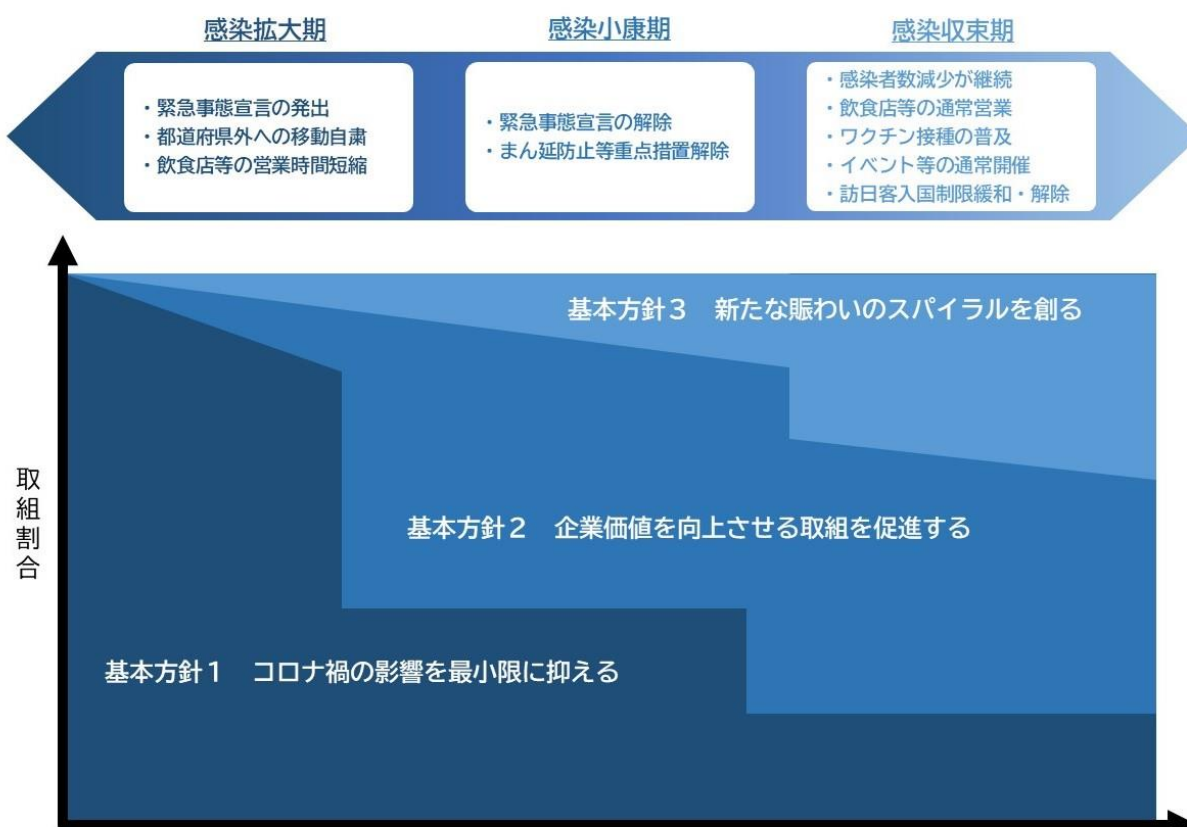
コロナ禍による社会経済情勢の変化により、様々な分野でSDGsやDX推進の動きが加速し、中小企業にとっても、企業価値向上のために不可欠な取組みになってきている。しかし、区内事業者の取組みは十分であるとは言えない状況であるため、SDGsの普及啓発を推進するとともに、DX推進の一步となるデジタル化を推進していくなど、支援の充実に努めていく。

VI 感染状況に応じた主な取組み

コロナの感染状況は、今後も一進一退で推移していくことが想定されるため、「感染拡大期」「感染小康期」「感染収束期」に応じ、重点とする主な取組みは、以下のとおりとする。

ただし、感染変化のスピードも速いことから、基本方針や取組みに捉われることなく、その時の感染状況に応じて柔軟に適切な対応をとるものとする。

【取組割合のイメージ】



※感染状況は常に変動しており、各感染ステージ間を行き来することが想定される。

※ 取組割合について

「感染拡大期」は、コロナ禍の影響を最小限に抑えることを重点に、「感染小康期」は、企業価値を向上させる取組みを促進することを重点に、「感染収束期」は、新たな賑わいのスパイラルを創ることを重点に取り組む。